

RICOH

IPSiO PJ 専用昇降式置き台 タイプ1

品種コード：308960

使用説明書

目 次

取付け・設置説明	01
お客様へ	01
安全上のご注意	01
各部名称・使用方法	02
プロジェクター設置方法	02
上下昇降方法	03
使用例	03

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

また、プロジェクター本体に同梱の『安全上のご注意』もあわせてお読みください。

取付け・設置説明

- ◎ご使用になる前に必ずこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に行ってください。
- ◎この説明書で指定されている手順でしっかりと設置してください。

お客様へ

- ◎取扱説明書は大切に保管してください。
- ◎取り扱い不備による事故や破損については、当社は責任を負いません。

安全上のご注意

誤った取扱いをした時に生じる危険とその程度を、次のような表示で区分しています。

-  **警告** 誤った取扱いをした時に、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
-  **注意** 誤った取扱いをした時に、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

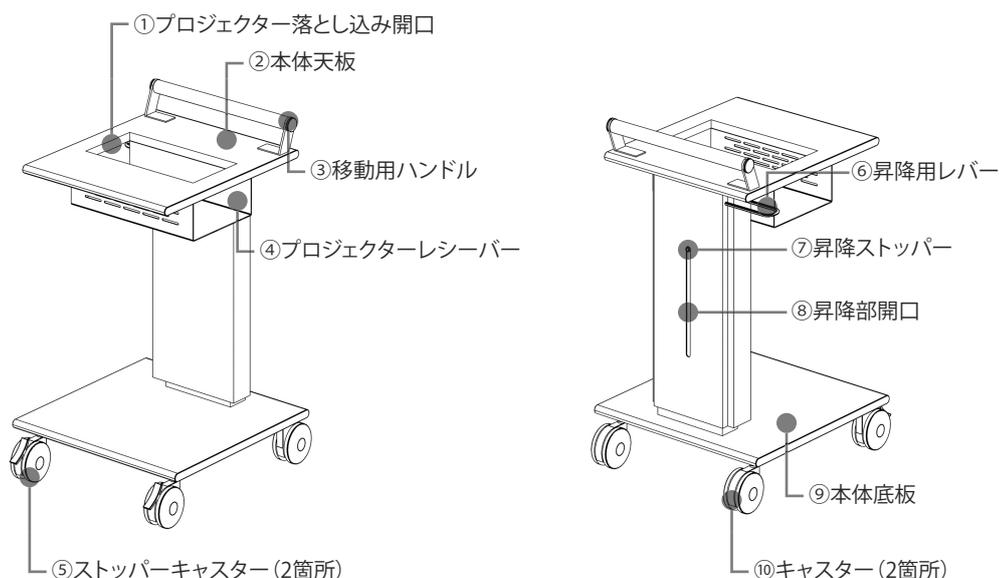
警告

- ◎プロジェクター台の移動はプロジェクターの電源を抜いた後に行ってください。
 - ・電源を抜かず移動すると予期せぬ感電や、コードの巻き込み等による転倒等が起こる可能性があります。
- ◎プロジェクター台の上に乗らないでください。
 - ・製品の変形、またそれに伴う事故が発生する可能性があります。
 - ・転倒または搭載物の落下などによる不測の事態が発生する可能性があります。
- ◎プロジェクター台の持ち上げは必ず二人以上で底板を持って行ってください。
 - ・一人では持ちにくい形状の為一人で持つと転倒し怪我などをする可能性があります。
 - ・上方向のストッパー機能が無い為天板部分を持って持ち上げると底板部分が落ち不測の事態が発生する可能性があります。
- ◎プロジェクター台昇降時には昇降部分付近に指や体の一部を置かないでください。
 - ・昇降部分に体の一部を置くこと昇降部分に巻き込まれて怪我などをする可能性があります。

注意

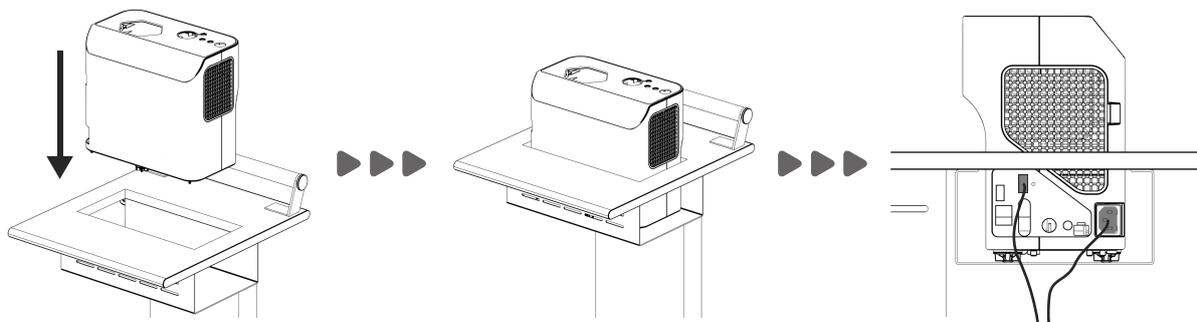
- ◎移動時には両手でしっかり取手を持ち移動してください。
 - ・移動時に片手で移動すると予期せぬ動きをする可能性があります。
 - ・片手で移動した場合急な加速、人の飛び出し等に対処出来ずに不測の事態が発生する可能性があります。
- ◎設置場所が決定したら、キャストーストッパーを掛けてください。
 - ・ストッパーを掛けない事により本製品のブレ、転倒、破損及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
 - ・ストッパーを掛けない事により不測の事態が発生する恐れがあります。
- ◎移動時には、キャストーストッパーを解除してください。
 - ・ストッパーを解除しない事により転倒、破損及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
 - ・ストッパーを解除しない事により不測の事態が発生する恐れがあります。
- ◎プロジェクター台を揺らす、もたれる等の使い方をしないでください。
 - ・通常の動かし方と異なる動かし方をした場合製品の破損が起こる可能性があります。
 - ・通常と異なる動かし方をする事で不測の事態が発生する恐れがあります。

各部名称・使用方法



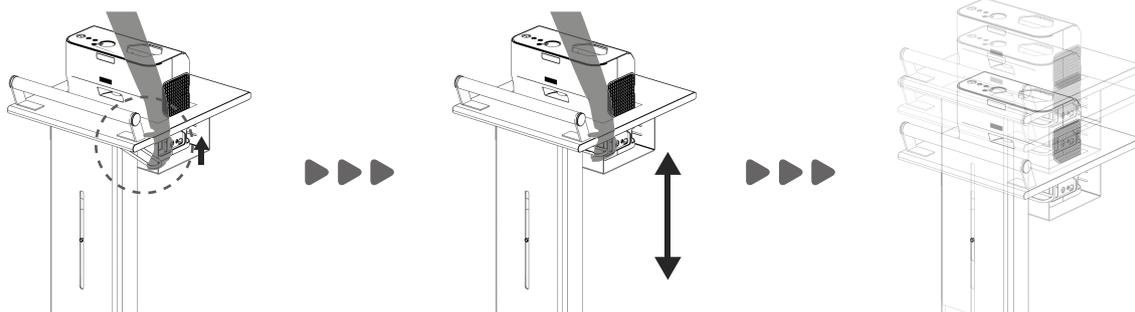
- ① プロジェクター落とし込み開口……………プロジェクターを落とし込む開口部です。
 上部よりプロジェクターを落とし込んでください。
- ② 本体天板……………本製品の天板部分です。
- ③ 移動用ハンドル……………プロジェクター台移動時にしっかり持って移動します。
- ④ プロジェクターレシーバー……………プロジェクターを落とし込んだ時に受ける板です。前面に放熱用孔があります。
- ⑤ ストッパーキャスター……………本体前方の2つのキャスターがストッパーキャスターです。
- ⑥ 昇降用レバー……………上下方向に昇降させる時に使用するレバーです。
 昇降時にレバーを上げて上部天板を昇降してください。
- ※ 下部方向には昇降ロック機能があり、荷重をかけても下がりませんが上部方向にはロック機能がありません。
- ⑦ 昇降ストッパー……………昇降幅を管理する昇降ストッパーです。
- ⑧ 昇降部開口……………昇降幅を管理する開口部です。
- ⑨ 本体底板……………本製品の底板部分です。
- ⑩ キャスター……………本体後方の2つのキャスターが通常のキャスターです。

プロジェクター設置方法



- ① プロジェクターをプロジェクター
 落とし込み開口に落とし込んで
 ください。
- ② 落とし込んだ後プロジェクター
 配線部分の位置を
 確認してください。
- ③ プロジェクター配線部分に
 使用するケーブルを差し込み
 てください。

上下昇降方法



① 昇降用レバーを上部に引き上げてください。

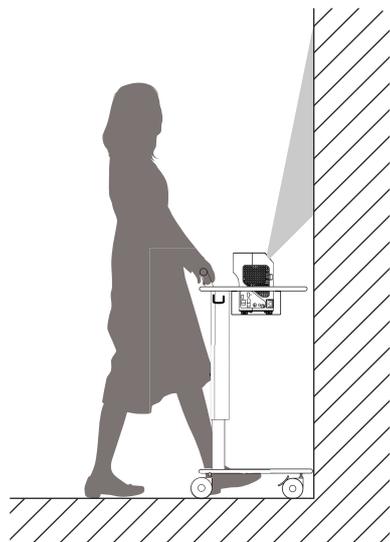
② レバーを引き上げたまま天板を上下に移動し任意の高さに調整してください。

③ 調整後はレバーから手を放してください。

※昇降用レバーから手を離すとストッパー機能が掛かりますが、ロック機能は下部方向にしかありません。天板やハンドルを持って持ち上げたり力を入れて上に引っ張ると上部が上がる可能性があります。

使用例

台の前面を壁面に付け設置した時



台の後面を壁面に付け設置した時



前面、後面どちらでも壁面付けし、プロジェクターを投影した時約50インチサイズの投影サイズになります。

更に大きなサイズを投影したい場合は壁面から離して投影してください。

投影面の高さは上下昇降機能で調整しながら適切な高さに合わせてください。

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-6777

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0925をご利用ください。

- ・受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- ・050ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- ・お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>